

第68回 日本生物工学会大会 (2016)

会 期 2016年(平成28年)9月28日(水)～30日(金)

会 場 <一般講演(ポスター発表)・シンポジウム・ランチョンセミナー>

富山国際会議場(〒930-0084 富山市大手町1番2号 TEL. 076-424-5931)

ANAクラウンプラザホテル富山(〒930-0084 富山市大手町2番3号 TEL. 076-495-1111)

<授賞式・受賞講演> 富山国際会議場 3Fメインホール(A会場)

<懇親会> ANAクラウンプラザホテル富山 3F鳳

<展 示> 富山国際会議場 3F

<若手会総会・交流会> ANAクラウンプラザホテル富山 3F鳳

大会ホームページ <http://www.sbj.or.jp/2016/>

主なスケジュール

講演申込み・要旨オンライン登録 5月9日(月)～6月1日(水)正午

事前参加登録締切り 8月5日(金)17:00

講演要旨集発行 8月25日(木)予定

	9月28日(水)	9月29日(木)	9月30日(金)
午前	授賞式・受賞講演	シンポジウム	ポスターセッション
昼	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー
午後	展示	展示	展示
	シンポジウム	受賞講演 シンポジウム	シンポジウム
	ポスターセッション	ポスターセッション*	ポスターセッション
夜	懇親会	若手会総会・交流会	

*若手会が主催する口頭発表会を同時に実施

参加費

	大会参加費		懇親会費	
	予約	当日	予約	当日
正会員	10,000円	12,000円	10,000円	12,000円
学生会員	6,000円	8,000円	5,000円	6,000円
非会員	14,000円	16,000円	12,000円	14,000円

(消費税を含む。ただし、正会員・学生会員の参加費は不課税。大会参加費は講演要旨集代を含む。)

参加申込 大会HPの参加申込画面(<http://www.sbj.or.jp/2016/registration/>)にて登録をお願いします。お支払いは①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込(手数料自己負担)が選択できます。

懇親会 2016年9月28日(水) ANAクラウンプラザホテル富山 3F鳳
予定開催時間 18:30～20:30

ランチョンセミナー 2016年9月28日(水)・29日(木)・30日(金)の昼休憩時を利用して開催します。詳細および参加申込みは後日大会HPに掲載します。

展 示 2016年9月28日(水)～30日(金)

大会中託児について 大会会場内に託児室は設置しませんが、近隣の保育所(有料託児)を紹介いたします。利用者には大会より補助(300円/時間)いたします。

<問合せ先> チャイルドスクウェア(<http://www.child-square.co.jp/>) TEL. 076-424-0881

各種会議 大会期間中に会議を開催予定の方は、規模に応じて会議室を無料で確保いたしますので下記までお問い合わせください。ただし、会場に限りがありますことをご了承ください。

申込締切 9月1日(木)

<問合せ先> E-mail: htoda@pu-toyama.ac.jp

大会実行委員会事務局 〒939-0398 富山県射水市黒河5180

富山県立大学工学部生物工学科内 日本生物工学会2016年度大会実行委員会

<問合せ先> 実行委員会総務担当 福井県立大学 木元 久

FAX. 0776-61-6015 E-mail: sbj2016@fpu.ac.jp

シンポジウム課題およびオーガナイザー

演者などの詳細は後日大会HPに掲載しますのでご覧ください。

国際的なバイオの展開を目指して

1. **Japan-Korea Joint Symposium “Deployment in Medical Engineering Using Advanced Nano- and Micro-biotechnology” 《国際シンポジウム》**
朴 龍洙（静岡大）・民谷栄一（阪大）
2. **新規な核酸関連酵素の開発とその産業応用**
藤原伸介（関西学院大）・保川 清（京大）
3. **2D/3Dプリンタを用いる細胞操作の可能性**
藤田聡史（産総研）・境 慎司（阪大）・秋山佳丈（信州大）
4. **遺伝子改変技術によるセルエンジニアリングの革新：産業応用に向けて**
河邊佳典（九大）・河原正浩（東大）
5. **Gap Filling of Metabolic Pathway and Application to Producing Valuable Compounds 《国際シンポジウム》**
中島信孝（東工大）・田村具博（産総研）
6. **Toward Sustainable Palm Oil Industry Coexisting with Environmental and Biodiversity Conservation 《国際シンポジウム》**
酒井謙二（九大）
7. **生命ビッグデータの利活用による生物工学のイノベーション**
富田因則（静岡大）・石井一夫（東京農工大）
8. **10th Japan-Korea Biomass Symposium 《国際シンポジウム》**
田丸 浩（三重大）・近藤昭彦（神戸大）
9. **有用微生物の農作物への新しい展開とその将来像**
高木 忍（ノボザイムズ）・安枝 寿（味の素）・松山彰収（ダイセル）・石井正治（東大）
10. **Biotechnology of Enzymes in Aldoxime-Nitrile Pathway from Microorganisms, Plants and Animals 《ERATO Asano Active Enzyme Molecule Project 国際シンポジウム》**
浅野泰久（富山県大；JST ERATO）
11. **Artificial Molecular Design to Create “Neobiological Molecules” 《国際シンポジウム》**
新井亮一（信州大）・伊東祐二（鹿児島大）
協賛：AMED「革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業」
12. **和食の機能性のメカニズム～生活習慣病予防、腸内細菌へのインパクト～**
北垣浩志（佐賀大）・中山二郎（九大）
13. **学会活動が先導する実用化研究・技術～学会は産官学の出会いの場となれるか～**
中澤昌美（大阪府大）・岩木宏明（関西大）・大橋正孝（奈良県産業振興総合センター）
小高敦史（月桂冠）
14. **生物学研究者の生命情報との向き合い方～バイオインフォマティクス入門から応用へ～**
牧野智宏（アスピオファーマ）・蟹江 慧（名大）・兒島孝明（名大）
15. **バイオエンジニアリングにおける分析科学の新たな展開**
座古 保（愛媛大）・迫野昌文（富山大）・上田 宏（東工大）
16. **酒類製造における革新技術【本部企画】**
堤 浩子（月桂冠）
17. **培養計測技術の最近のトピックス【本部企画】**
兒島宏之（味の素）
18. **植物代謝工学研究最前線～新産業創出に向けて～**
村中俊哉（阪大）・岡澤敦司（大阪府大）・田口悟朗（信州大）
19. **微生物の潜在能力に注目した有用二次代謝産物の「ものづくり」戦略**
荒川賢治（広島大）・大利 徹（北大）
20. **セルフリー（無細胞）タンパク質合成技術の新展開**
松浦友亮（阪大）・清水義宏（理研）

講演申込みと要旨受付

講演申込み・要旨受付期間

2016年5月9日（月）～6月1日（水）正午（締切厳守）

申込み資格 一般講演（ポスター発表）の発表者は2016年会費既納の本会正会員または学生会員に限ります（1人1演題のみ）。講演申込みには発表者の会員番号が必須となり、会員番号がない場合には登録できません。事前に必ず入会手続きをお願いします。会員番号は入会登録と会費の入金確認ができ次第お知らせしますが、1週間程度かかりますので早めの手続きをお願いします。入会はHP「入会案内」<http://www.sbj.or.jp/join/>よりできます。なお、会員番号が不明の場合は、事務局（info@sbj.or.jp）にお問い合わせ下さい。

発表形式 本年度の一般講演はポスター発表形式で行いますが、一部、若手会による口頭発表も行います。ポスター掲示時間、ポスター説明時間、ポスターサイズ、口頭発表会等については演題確定後、あらためて大会HPおよび本誌会告にて通知致します。

受付期間 2016年5月9日（月）～6月1日（水）正午まで。

講演申込みと要旨登録は同時に締め切ります。締め切り後は、新規申し込み、要旨を含む内容修正はできません。終了前はアクセスが集中し申し込みできない場合がありますので、早めの申込みをお願いします。

申し込み・要旨登録方法

以下の手順に従ってお申し込み下さい。本会大会は講演申し込み時点で講演要旨の登録が必要です。

- ① まず、＜参加申込＞画面で参加申し込みを行って下さい。折り返し「参加申込番号（ID: 例E0001）」と「パスワード」が送付されます。
- ② 次に、＜一般講演申込＞画面で、「参加申込番号（ID）」と「パスワード」でログインし、下記の注意事項を参考に講演要旨の登録をして下さい。
- ③ 要旨の登録が完了すると、画面に「受付番号」が表示されます。受付番号は必ず記録、保存をお願いします。トラブル発生時の問い合わせに必要となります。なお、講演申込み・要旨の登録システムに関して不明な点はく株式会社ダイナコム（sbj2016@dynacom.co.jp）にお問い合わせ下さい。

要旨入力画面での諸注意 ※入力の際には画面の注意事項をよくお読みください。

- 文字数** タイトルは、全角50文字（半角100文字）、著者名および所属略称は全角140文字（半角280文字）、要旨本文は全角770文字（半角1540文字）以内に収めて下さい（スペース含む）。日本語で発表する場合は、タイトル、著者名、所属略称の英語表記が必要です。入力フォームの表示に従って文字数をご確認ください。
- 所属略称** 英文・和文ともに紛らわしくない限り短い省略形とし、1) 大学院→院、2) 大学院しかない場合は院も省略（例：奈良先端大・バイオ）、3) センター→セ、4) 研究所→研、5) 市立、府立、県立の「立」は削除、6) 企業の場合、（株）は不要、7) Graduate School of Biotechnology→Grad. Sch. Biotechnol.、8) 通称がある場合は使用（例：ICBiotech.）。
- 分類コード** 第1、第2希望ともに選択して下さい。どうしても第2希望で該当するものがない場合には、第1希望と同じものを選択して下さい。
- キーワード** キーワード欄の横ボタンで一覧表が表示されますので選択して下さい。一覧表にない場合は、手動で入力下さい。途中に空欄を作らないように上から順番に英語で、1つは必須で4つまで可能です。
- 大会トピックス公開の希望** 本会では、年次大会を優れた研究成果や産学官の会員の貴重なシーズの公開の場と位置づけ、将来性や実用化が期待される講演発表についてマスコミ等の報道により研究成果やシーズを広く公開していく方針です。シーズ等公開の希望、取材対応の可否、アピール点をご申告下さい。「大会トピックス公開の希望」でYesに付けられた発表から、実行委員会において20題程度のトピックスを選定し、全国TLO、バイオビジネスシーズに関心のある団体等に公表する予定です。大会トピックスに選定された演題に対しては以下の対応をいただくことになります。
 - ・本会大会前に実施する記者発表会における研究内容の公開
 - ・大会実行委員の選定による「トピックス集」への原稿作成
 - ・新聞社などから問い合わせがある場合は、記者の取材対応

■**若手会口頭発表の希望** 本大会では、若手会が主催する口頭発表会（10題程度）を29日（木）のポスター発表と同時間帯に実施します。口頭発表は、博士後期課程在学生在に限定しております。口頭発表の希望の可否をご申告ください。口頭発表に選定された演題に対しては以下の対応をいただきます。

- ・若手会が開催する発表会にて口頭発表し、同コンペに参加する。
- ・口頭発表の後、改めて決められた時間帯にポスター発表を行う。

■**備考（通信欄）** 発表者が20人を超える場合や氏名の漢字など、印刷時の希望事項などをお書き下さい。文字数は全角127文字以内でお願いします。なお、最終的には大会実行委員会の判断で、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承下さい。

分類コード

技 術 分 野		対 象	
分 野	第1希望, 第2希望の選択項目		
遺伝学, 分子生物学 および遺伝子工学	1 分類, 系統, 遺伝学	原核微生物	システムバイオロジー
	2 遺伝子工学	真核微生物	ナノバイオテクノロジー
酵素学, タンパク質工学 および酵素工学	3 酵素学, 酵素工学	酵母	マイクロアレイ
	4 タンパク質工学	糸状菌	ゲノミクス
	5 抗体工学	アーキア	プロテオミクス
代謝生理学・発酵生産	6 発酵生理学, 発酵工学	特殊環境微生物	メタボロミクス
	7 代謝工学	光合成微生物	ケミカルバイオロジー
	8 オミクス解析	藻類	バイオイメージング
醸造・食品工学	9 醸造学, 醸造工学	植物細胞	PCR
	10 食品科学, 食品工学	動物細胞	分子育種
環境バイオテクノロジー	11 環境浄化, 修復, 保全技術	植物	情報伝達
	12 環境工学, 廃水処理技術	動物	培養制御
	13 バイオマス, 資源, エネルギー工学	有機酸	固定化
生物化学工学	14 生物化学工学	乳酸	分離, 精製
	15 培養工学	脂質	
	16 バイオプロセス	糖, 糖鎖	組織培養
植物バイオテクノロジー	17 植物細胞工学, 組織培養, 育種工学	核酸, ゲノム	組織, 器官
		プラスミド, ファージ	医薬, 医薬品
動物バイオテクノロジー	18 生体医用工学	RNA, RNAi	食品
	19 セル&ティッシュエンジニアリング	生理活性物質	免疫
バイオ情報	20 生体情報工学, バイオインフォマティクス	抗生物質	生態工学
	21 システムバイオロジー	アミノ酸	CO ₂
分析計測化学	22 バイオセンシング, 分析化学	ペプチド	H ₂
	23 センサー, 計測工学	生体高分子	エタノール
生体関連化学	24 生合成, 天然物化学	タンパク質	
	25 有機化学, 高分子化学	抗体	難分解物質
生体分子工学	26 核酸工学	酵素: 糖質関連	生分解物質
	27 ペプチド工学	酵素: ペプチド・ アミノ酸関連	廃棄物
	28 脂質工学	酵素: 脂質関連	水
	29 糖鎖工学	酵素: その他	土壌 その他

参加費支払い方法

大会参加費のお支払いは、①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込（手数料自己負担）から選べます。手順は以下の通りです。

- 1) 参加申込画面にて登録を行い、支払い方法を選択して下さい。会員番号は会誌送付ラベルをご参照下さい。
- 2) 参加申込番号とパスワードが記載された確認メールが届きます。
- 3) カード決済とコンビニ決済は、確認メールに記載のURLから決済画面に進み、参加申込番号とパスワードでログインして下さい。銀行振込を選択された方は、メールに記載された口座にお振り込み下さい。

※振込票は送付されません。

※懇親会参加のみ、要旨集のみの申込も参加申込画面にて受け付けます（要旨集の発送は大会終了後となります）。